

暮らすような旅をしよう

出会う景色や人との会話がなんだか温かい。
さいはての漁師町は何度訪れても
新しい発見があります。



地域の隠れた魅力を発見!

県下有数の漁港がある蛸島地区はキリコ祭りや珠洲焼が有名ですが、ここ数年、住民と移住者が一緒になって町の隠れた魅力にふられる旅を提案しています。蛸島はかつて北前船の寄港地として栄え、漁港近くには珠洲最古の北前船主家屋・島崎家が残されています。屋号は「三蔵」で、往時は「松前(北海道)行くなら三蔵の船で」と言われていたそう。現在、家屋は地域の交流拠点として復活しています。港に浮かぶ地名の由来になった蛸島や山あいにある珪藻土洞窟など少し謎めいたスポットにも興味をそそられます。この地で培われてきた文化は普段の暮らしにこそ垣間見えるもの。暮らすような旅をすることで、観光地めぐりとはひと味違った体験ができます。

北前船貿易の名残を 今に伝える

しまぎき
島崎家



北前船で財をなし、戦前は樺太で商売をしていた島崎家



島崎家の末裔
矢作 桂子さん 赤坂 敏昭さん

有志で島崎家を復活させ、交流拠点として活用するイベントを計画中です。昨年は餅つき大会をしました。

当宿を拠点に蛸島をめぐり、いろいろな出会いを楽しんでください。

主人
田中 満博さん



宿泊用の和室にはキリコ燈籠の一部を展示

地元漁師に 愛される幻の酒

さくらだしゅぞう
櫻田酒造

大正4年創業で、4代目が杜氏を務めています。味わいの深い酒は地元で愛され、珠洲以外ではなかなかお目にかかれません。

→P17/特5-2
①珠洲市蛸島町ノ93 ☎0768-82-0508
②8:00~20:00(変動有)③不定休 酒蔵見学は不可



醸造量が少量で、5割以上が地元消費
代表銘柄の「初桜」と「大慶」

新しいことにも
挑戦しながら、
楽しく酒造りを
しています。

4代目蔵元・能登杜氏
櫻田 博克さん

魚を知り尽くした 仲買人の食堂

みんしゆく・おしよくじむろや
民宿・お食事 むろや

愛嬌たっぷりの夫妻が切り盛り。仲買人でもある主人自ら競り落とした鮮度抜群の魚介の料理が自慢です。冬はアンコウ(要予約)、夏は岩ガキが名物。

→P20/MAP38/民宿は要予約
①珠洲市蛸島町ナ部123 ☎0768-82-1188
②11:30~14:00 ③不定休 <http://suzu-muroya.com/>



店主
室谷 千代和さん



海鮮丼2500円のネタはその日のお楽しみ

魚好きにはたまらない、おまかせ定食1500円

広いお部屋で のびのびと滞在

のうかみんしゆく たなか
農家民宿 たなか

漁師の網元が住んでいた豪邸が1日1組限定の宿に。家族や友人と気兼ねなく過ごすことができます。愛犬も宿泊可能。

→P17/特5-1
①珠洲市正院町川尻13-51-5 ☎0768-82-5372
②素泊まり21,000円/組~
<https://noukaminskyu-tanaka.com/>

絶妙の塩加減で、 魚の味が際立つ干物

天然の魚しか使
いません。魚ご
とに塩加減、干
し時間を変えて
います。



主人
番匠 利一さん

希望金額に合わせた詰め合わせ

さかなやじんごろう
さかな屋甚五郎

蛸島漁港で獲れた鮮魚や干物を販売し、
首都圏の料理人からも注文が入る知る人
ぞ知る店。干物はいい塩梅の塩加減。

→P17/特5-3
①珠洲市蛸島町ナ部-12 ☎0768-82-0009
②9:00~16:00(変動有) ③不定休
<https://sakanaya-jingorou.com/>

奥様
番匠 佳子さん

足をのばして

珪藻土洞窟探検

江戸期から珪藻土が掘削されてい
る洞窟。見学希望は珠洲市蛸島地
区スローツーリズム推進協議会
(☎0768-84-5076)へ要問合せ

